

Press Release

新型コロナウイルス感染拡大に伴う義援金を拠出 ～SDGs（持続可能な開発目標）の取組みを強化～

新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された方々、感染拡大により困難な状況におられる方々には心よりお見舞い申し上げます。また、医療従事者をはじめ、最前線で感染拡大防止にご尽力されている多くの方々に敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

一般財団法人アズビル山武財団^{※1}（本部：藤沢市川名神奈川県藤沢市川名1-12-2 理事長：曾禰寛純）は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大による状況を踏まえ、中央共同募金会（赤い羽根共同募金：神奈川県指定）へ1,000万円、あしなが育英会へ500万円を寄付することを決定しましたので、お知らせいたします。この募金は、教育機会を喪失した学生や、ひとり親世帯等の社会的に弱い立場にあるご家庭や学生を対象として実施いたします。

当財団は、オートメーションをはじめとした新技術育成や将来を担う若者を支援することを目的に、アズビル株式会社^{※2} 創業110周年にあたる2016年に設立されました。これまでに学生の就学支援やその家庭に対する助成や支援を、本部のある藤沢市を中心とした地元密着型で実施し、人々の喜びや達成感に満ちたしあわせの創造につなげてまいりました。

今般のコロナ禍に際し、当財団で実施している社会的に弱い立場におられる方々や困窮学生を支える支援活動について、それぞれの支援プログラムごとに対応の強化も進めております。今般の義援金拠出につきましては、上記の定常的な支援活動に加え、新たに設けた「SDGsに貢献する活動支援」の枠組みから拠出することといたしました。

当財団では、今後も次世代を担う若者の夢や目標を実現する具体的な支援を行うことで社会課題の解決に取り組んでまいります。

※1：アズビル山武財団

人々の「安心、快適、達成感」のある仕事や生活の実現や地球環境への貢献につながる計測・制御などを始めとする研究活動への支援、将来それらと多様な接点が見込まれる学生への奨学金の支給及びそれらに関連する教育などの支援を行うことを目的として2016年2月に設立。

※2：アズビル株式会社

azbilグループの中核として、「計測と制御」の技術をもとに、人々の安心・快適・達成感と地球環境への貢献をめざす

「人を中心としたオートメーション」を、グローバルにて追求。建物市場でビルディングオートメーション事業を、工場やプラント市場でアドバンスオートメーション事業を、ライフラインや健康などの生活に密着した市場において、ライフオートメーション事業を展開。持続可能な社会へ「直列」に繋がる事業活動を通じ、**SDGs**にも積極的に取り組んでいる。

※**SDGs** : 国連が定めた **17** の目標と **169** のターゲットからなる持続可能な開発目標。(**Sustainable Development Goals**)

ご質問等のお問い合わせ先：

一般財団法人 アズビル山武財団

電話：0466-55-2900 担当：八木下